

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【公開番号】特開2010-237897(P2010-237897A)

【公開日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-042

【出願番号】特願2009-84069(P2009-84069)

【国際特許分類】

G 06 Q	30/00	(2006.01)
G 06 Q	50/00	(2006.01)
G 06 Q	10/00	(2006.01)
G 06 K	17/00	(2006.01)
G 06 K	19/07	(2006.01)
G 06 K	19/00	(2006.01)
G 07 G	1/12	(2006.01)
G 07 G	1/14	(2006.01)

【F I】

G 06 F	17/60	3 2 4
G 06 F	17/60	1 1 8
G 06 F	17/60	5 0 6
G 06 K	17/00	F
G 06 K	17/00	L
G 06 K	19/00	H
G 06 K	19/00	Q
G 07 G	1/12	3 2 1 N
G 07 G	1/14	

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月30日(2011.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

顧客が所持する顧客端末に電子クーポンとして扱われる情報を、特典の内容を特定するクーポン識別情報として記憶させ、電子クーポンを読み取る店舗端末が、前記クーポン識別情報と特典の内容を対応付ける関連付けテーブルを、該テーブルの特典の内容を書き換える可能な形態で備え、該テーブルの特典の内容情報を書き換えることにより、電子クーポンを再発行、再取得せずにクーポン識別情報で特定される電子クーポンの特典の内容を変更可能にしたことを特徴とする電子クーポンのサービス方法。

【請求項2】

電子クーポン発行者は、電子クーポンの発行時に、クーポン識別情報、会員識別情報、および、発行履歴を識別するために電子クーポンの発行時に付加する発行IDとを対応付けて発行履歴として記録し、

店舗端末は、電子クーポンにより特典を提供する際に、該電子クーポン情報のクーポン識別情報、発行IDを含む情報を利用履歴として記録し、

所定のタイミングで前記利用履歴を前記発行履歴と照合することにより、店舗端末で会員

識別情報を記録することなく、電子クーポンを利用した会員の情報を得ることができるようとしたことを特徴とする請求項1に記載の電子クーポンのサービス方法。

【請求項3】

前記電子クーポンは、前記クーポン識別情報と前記発行IDと2値状態のいずれかの値をとるフラグの3種類のデータを1組として構成して、前記発行IDにより1件の電子クーポンを区別し、フラグの値により1件の電子クーポンが未使用か使用済みかを区別するようにした請求項1または2に記載の電子クーポンのサービス方法。

【請求項4】

顧客が所持する顧客端末に格納される電子クーポンと、
店舗に置かれ、前記電子クーポンから同クーポンの特典の内容を特定するクーポン識別情報を読み取る読み取り手段を備える店舗端末と、

前記クーポン識別情報と、特典の内容を示す特典情報と、顧客情報を管理するクーポン管理サーバと、

前記顧客端末と前記店舗端末と前記クーポン管理サーバとを結ぶネットワークと、
を備える電子クーポンサービスシステムであって、

前記店舗端末は、前記サーバから前記ネットワークを介して配信される前記クーポン識別情報と前記特典情報を対応付ける関連付けテーブルを、同テーブルの特典情報を書き換える可能な形態で備えることを特徴とする電子クーポンサービスシステム。

【請求項5】

前記サーバは、前記顧客端末に前記ネットワークを介して前記電子クーポンを配信する際に、前記クーポン識別情報と、発行履歴の識別のために配信毎に発行する発行IDとを組として配信することを特徴とする請求項4記載の電子クーポンサービスシステム。

【請求項6】

前記店舗端末は、前記顧客端末から前記クーポン識別情報を読み取る際に、前記クーポン識別情報とともに前記発行IDを組として読み取り、前記関連テーブルと照合することにより、読み取ったクーポン識別情報に対応する特典情報を特定することを特徴とする請求項4記載の電子クーポンサービスシステム。

【請求項7】

請求項4または5の何れかに記載の電子クーポンサービスシステムにおけるクーポン管理サーバ。